

大会名称: 平成28年度
第46回関東中学校バスケットボール大会

開催場所: 船橋アリーナ Dコート

試合区分: No. 138 女子 3回戦

期 日: 2016(H28)年8月10日(水)

開始時間: 14:50

終了時間: 16:30

陽南		○		●		昭和学院									
(栃木)		58		51		(千葉)									
				17 -1st-	8										
				9 -2nd-	7										
				16 -3rd-	17										
				16 -4th-	19										
				-OT1-											
				-OT2-											
				-OT3-											
NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	菊田 侑里	9	0	3	3	5	4	*	ダリング 杏那	6	0	1	4	2
5	*	山本 玲愛	31	6	5	3	3	5	*	松尾 響	9	1	2	2	0
6		志村 陽菜	2	0	1	0	0	6	*	渡辺 ひとみ	6	0	3	0	4
7	*	吉田 姫加	3	1	0	0	5	7	*	倉林 奈穂	5	0	2	1	3
8		石井 桃花	-	-	-	-	-	8	*	砂川 ゆめの	4	0	2	0	1
9	*	佐藤 多伽子	10	0	5	0	2	9		大城 かおり	2	0	1	0	3
10	*	大嶋 星空	3	0	1	1	4	10		古川 七菜子	-	-	-	-	-
11		横島 楓華	0	0	0	0	0	11		花島 百香	19	0	8	3	0
12		関 桃菜	-	-	-	-	-	12		加々美 穩空	-	-	-	-	-
13		山中 優有	-	-	-	-	-	13		茂木 花乃子	-	-	-	-	-
14		福田 萌夏	-	-	-	-	-	14		高梨 遥香	-	-	-	-	-
15		神山 南帆	0	0	0	0	2	15		鈴木 叶子	-	-	-	-	-
16		伊藤 虹歩	-	-	-	-	-	16		矢野 百笑	-	-	-	-	-
17		島田 あおい	-	-	-	-	-	17		椎崎 汐里	-	-	-	-	-
18		福田 姫和	-	-	-	-	-	18		藤本 梨奈	-	-	-	-	-
コーチ		植田 佳祐					0	コーチ		一関 智子					0
		合計	58	7	15	7	21			合計	51	1	19	10	13

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール

全国大会出場をかけた一戦。第1Q、両チームハーフコートマンツーマンでスタート。昭和学院は#5松尾のドライブインからの得点でペースをつかむ。対する陽南も#5山本の3P・ドライブインからの得点で応戦。さらに、陽南は#4菊田のインサイドを中心に試合の主導権を握る。第2Qに入ると、両者インサイドの激しいポジション争いが始まる。そんな中、陽南は1Qに引き続き#4菊田のインサイドを中心に、#5山本のアウトサイドシュート、#6志村のミドルシュートで徐々に点差を広げる。昭和学院も#11花島のリバウンドシュート・ドライブインで食らいつき、前半を15対26で折り返す。

第3Q立ち上がり、陽南は#9佐藤のミドルシュート、#5山本のドライブインで得点を重ねる。前半同様、流れは陽南と思われたが、昭和学院#8砂川が粘り強くゴール下のシュートを決め、陽南に食らいつく。激しいディフェンスの中で途中陽南は#7吉田が5ファウルでコートを後にする。第4Q開始早々、昭和学院が怒涛の攻撃を見せる。#11花島の連続得点、#6渡辺のリバウンドシュート、#7倉林のドライブインから得点し、点差を1点差までつめる。陽南は前半から立て続けに続くファウルで#4菊田が5ファウルで退場し、チームの大黒柱を失う。しかし、#5山本が2連続3Pとミドルシュートを決め、残り2分で点差を6点差まで広げる。その後、昭和学院もタイムアウトを取り、オールコートプレスを仕掛け、最後の勝負に出る。残り1分を切り、勝負所での陽南#5山本のロング3Pで9点差に。最後の1秒まで互いに全国の切符を勝ち取ろうと足を動かし続け、前半からの点差を守り抜いた陽南が全国への切符をつかんだ。どちらのチームも各県の代表校であるというプライドを見せた好ゲームであった。